

生きる力

～ステージ4の
がんを乗り越えて～



【講師】

日本赤十字社熊本健康管理センター名誉所長
熊本「新老人の会」会長

こ やま わ さ く

小山 和作 氏

■日時

令和6年(2024年)

5月13日(月)

開場 13:00
開会 13:30
講演 14:00~15:30
閉会 15:40

参加
無料

事前申込制
(応募者多数の場合、抽選)

託児
あり

手話通訳
あり



■場所 くまもと県民交流館パレア10階 パレアホール

切り取り線

令和6年度(2024年度)くまもと県民カレッジ 開講式 講演会申込み

氏名	ふりがな	電話番号(日中に連絡がつく番号)
住所	〒	年齢
託児申込 (○で囲む)	有 → 有の場合、お子様の名前(ひらがな)・年齢(○歳○ヵ月)・性別 ※複数名の場合は、全員お書きください 無	

お申込みいただいた個人情報は、センターで適正に管理し、当講演会の目的のみに使用します。

《講師プロフィール》

日本赤十字社熊本健康管理センター名誉所長
熊本「新老人の会」会長

こ やま わ さ く
小山 和作 氏

- 1932年 長崎県生まれ
- 1960年 熊本大学医学部卒業
- 1965年 同大学大学院医学研究科卒、同大学第二内科講師
- 1974年 財団法人熊本県健康管理協会専務理事
- 1978年 日本赤十字社熊本健康管理センター所長、25年間同職に就く。
- 2003年 同職を退職して、同名誉所長

半世紀にわたって予防医学に心血を注いできた小山さんだが、2021年3月、喉に腫瘍が見つかった。大きさは約3.5センチで、診断はステージ4。手術や入院以外の方法を探る中で、小山さんは免疫療法に出会い、がん免疫治療薬の点滴などを開始。治療以外にも独自に、鍼灸(しんきゅう)や野菜スープを毎日食べて免疫力を高めたという。腫瘍は数カ月で消失。自身の体験から「病気を治すには気力を持ち、前向きで素直な性格も大事」と説く。現在も再発しておらず「全てがうまくいくとは限らないが、がん患者に免疫療法も選択肢だと伝えたい。そして生きることを諦めないで」と話す。

受講における留意事項

- ①講座中のマスク着用については、各自でご判断ください。
- ②発熱など体調不良の方は参加をご遠慮ください。
- ③換気をしながら講座を行いますので、騒音などはご了承ください。

申込方法

はがき・電話・FAX・メールで、必要事項をご記入のうえ下記にお申込みください。

申込先

熊本県生涯学習推進センター(くまもと県民カレッジ事務局)
〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9くまもと県民交流館パレア
TEL 096-355-4312
(平日9:00~17:00 土・日・祝日は電話等の対応はできません。)
FAX 096-355-4318
MAIL manabi@k-parea.net

必要事項

- ①名前(ふりがな)
- ②年齢
- ③住所(郵便番号)
- ④電話番号
- ⑤託児の有無

申込締切

令和6年(2024年)
4月23日(火) 必着
※受講決定については5月7日(火)頃までに、はがきにて通知します。



くまもと県民カレッジは、
誰もが入学でき、学ぶことができる生涯学習のシステムです。
詳しくは、当センターのホームページをご覧ください。



生涯学習マスコット「マナビイ」